



# UNIC Tokyo Dateline UN

March 2002 Vol.29

国際連合広報センター

## 国際女性の日

女性は今、  
そして未来へ向かって

—アフガニスタンの女性たち—

アフガニスタンのヘラット難民キャンプの学校。キャンプの中には、男子と女子の学校がそれぞれ1つずつある。金曜日をのぞく毎日午前8時から12時まで授業が行われ、女子校では女性教師が、男子校では男性教師が教えている。教師もまた難民である

【写真提供・川崎けい子氏】



## UNハウスで 公開フォーラムを実施

3月8日は国連が定める「国際女性の日」です。社会における女性の平等な役割とエンパワーメントを促進する日として、この日、世界中で記念行事が行われます。日本でも同日、UNハウス（国連大学ビル）に事務所を置く国連広報センターなど7つの国連機関が合同で、「女性は今、未来へ向かって—アフガニスタンの女性たち—」という公開フォーラムを開催しました。高島肇久国連広報センターがコフィー・アナン国連事務総長のメッセージを代読してフォーラムはスタート。この日に寄せたメッセージのなかでアナン事務総長は、「男女平等と女性の地位向上は、持続可能な開発のために極めて重要である」と強調しました。

その後、(財)横浜市女性協会の理事で、また国連婦人の地位委員会日本代表を務められた有馬真喜子氏が「社会の再建における女性の役割」というタイトルで基調講演を行いました。続くパネル討論会には有馬氏のほか、アフガン難民やアフガニスタンの人々の写真を撮って

る写真家の川崎けい子氏、アフガン難民への支援を続けるNGO「難民を助ける会」の長有紀枝事務局長、国際基督教大学の高橋一生教授が、復興のなかで女性が果たす役割などについて意見を発表しました。

当日は「インフォメーション・マーケット」が設置され、各国連機関がジェンダーとアフガニスタンに関する情報を展示しました。またパネリストの1人である川崎氏の「アフガニスタンの女性と子どもに関する写真展」も当日から1週間ほど開催され、深刻な状況下にあっても前向きに生きる人々をとらえた写真に、多くの参加者が足を止めていました。

### INSIDE

「国際女性の日」アナン国連事務総長メッセージ	2
「国際女性の日」誕生への道のり	3
「世界水の日」アナン国連事務総長メッセージ	4
開発のための水	5
国連第2回高齢者問題世界会議 人口高齢化に関する新しい統計を発表	6
国連人口基金の新しい親善大使に 有森裕子さん	7

<http://www.unic.or.jp/>

# International Women's Day

## 国際女性の日 3.8

### 男女平等と女性の地位向上は 持続可能な開発の不可欠な手段

#### コフィー・アナン国連事務総長メッセージ



ミレニアム宣言は、21世紀に最優先で取り組むべき任務を私たちに示しています。そこで決まった行動計画を実行に移し、恐怖からの自由、欠乏から

の自由、および地球資源保護という目標を達成するために私たちに示された指針ははっきりしています。私たちが行動する時は常に人間を中心に置いて考えようということです。ですから私たちが男女平等と女性のエンパワーメントのために努力することは、貧困や病気と闘い、真に持続可能な開発を目指す上で大変に重要な手段となってくるわけです。私たちが紛争解決と平和構築の分野でも女性の貢献を基盤におくことを決意しているのもそのためです。

私たちは昨年達成された進歩から力を導き出すことができますし、そ

うしなければなりません。アフガニスタンでは、紛争、苦難、人権侵害の年月の後、女性と少女たちが希望を取り戻し、教育を受ける権利、働く権利、社会の中で積極的に役割を果たす権利を再び行使し始めています。2000年には国連の安全保障理事会決議/1325が採択され、加盟国は女性、平和、および安全保障など、さまざまな領域に取り組むよう奨励されています。女性を武力闘争の被害から守るためだけでなく、平和構築と復興においても女性の役割が強化されなければなりません。ますます多くの国々で女子差別撤廃条約の選択議定書が批准され、女性の権利が侵害された場合には、国際機関に申し立てをすることができるようになってきました。国連エイズ特別総会の成果に反映されているように、国際社会全体でも、エイズとの闘いで女性の地位向上の重要性への認識が高まってきました。

今後数週間か数カ月間のうちに、さらなる前進を可能にする重要な会

議がいくつか開かれます。開発金融に関する国際会議と持続可能な開発に関する世界サミットはグローバル化が進む世界で持続可能な開発を達成するために女性が中心的役割を果たす重要な機会となるでしょう。第2回高齢者問題世界会議では、世界人口の高齢化が女性に及ぼす劇的な影響と、すべての女性が安全と威厳を持って年齢をとることができるようにする必要性が討議される見通しです。そして、子ども特別総会では、すべての子どもと女性の権利を保護し行使するための具体的な目標が期限付きで設定される予定です。

この国際女性の日にあたって、数々の重要な課題に取り組もうとするとき、私たちは常に女性の権利の達成は女性だけの責任ではなく、私たち全員の責任であることを忘れないようにしなければなりません。男女平等に向けた前進が、日々の闘いではなく、私たちの自然な行動のひとつとなるような環境を作り出していこうではありませんか。この決意が、ミレニアム宣言を現実のものとする私たちのあらゆる努力の下支えとなるはずで



公開フォーラム  
から

【写真協力】  
日本国連協会東京都本部

～パネリストの方々～

- 1 イスラム教社会で女性が着用する「ブルカ」をまとう写真家の川崎けい子氏
- 2 難民を助ける会事務局長 長有紀枝氏
- 3 前国連婦人の地位委員会日本代表 有馬真喜子氏
- 4 国際基督教大学教授/国連大学客員教授 高橋一生氏

会場入口では「アフガニスタンの女性と子どもに関する写真展」が行われた

各国連機関がジェンダー関連活動を紹介した「インフォメーション・マーケット」

## 「国際女性の日」誕生への道のり

国際女性の日（3月8日）には、国連で記念行事が行われるほか、世界にはこの日を国民の祝日としている国も多くあります。国境、ならびに民族、言語、文化、経済および政治の相違によって引き裂かれることの多い、全ての大陸の女性が一致してこの日を祝うとき、そこには平等、正義、平和および発展を求める90年以上にわたる闘いの歴史を見てとることができます。

国際女性の日アイデアは19世紀末から20世紀初頭にかけて最初に生まれました。その当時、先進世界は拡大と混乱、人口の急増と急進的イデオロギーを経験していました。その後の重要な出来事を列記すると以下のようになります。

- 1909年  
アメリカ社会党の宣言にしたがい、2月28日に米国全土で初の全国女性の日記念行事が行われた。
- 1910年  
社会主義インターナショナルがコペンハーゲンで大会を開き、女性の日を設けた。

- 1911年  
オーストリア、デンマーク、ドイツおよびスイスで初の国際女性の日記念行事が行われ（3月19日）、100万人以上の男女が集会に参加。投票権と被選挙権に加え、参加者は労働の権利、職業訓練を受ける権利、および、職場での差別停止を求めた。3月25日、ニューヨークで悲劇的なトライアングル火災が発生し、女性労働者140人以上が犠牲となった。そのほとんどはイタリア人とユダヤ人の移民だった。この事故は米国の労働法に大きな影響を及ぼした。

- 1913～1914年  
第一次世界大戦前夜の平和運動の一環として、ロシアの女性たちが1913年2月の最終日曜日に、初めて国際女性の日記念行事を行った。その他ヨーロッパでは、1914年の3月8日を中心に女性が戦争に抗議したり、女性同士の連帯を示したりする集会を開いた。

- 1917年  
ロシア兵2百万人が戦死したことを受け、ロシアの女性たちは再び、

2月の最終日曜日に「パンと平和」を求めるストを決行。その4日後、ロシア皇帝は退位を余儀なくされ、暫定政府は女性に投票権を認めた。この歴史的な日曜日は、ロシアで当時用いられていたユリウス暦で2月23日に当たったが、他の国々で利用されていたグレゴリオ暦では3月8日に当たった。

このように当初から、国際女性の日は、先進国、途上国を問わず、女性たちにとって新しいグローバルな特質を呈していました。国際的な女性運動の盛り上がりは、国連の過去4回にわたる世界女性会議によって強化され、国際女性の日行事を女性の権利と政治・経済過程への参加を求める協調的努力の結節点とすることに貢献しました。

現在までの進歩を省み、変革を求め、女性の権利の歴史において並々ならぬ役割を演じてきた普通の女性たちによる勇気と決意ある行動を祝うのが、国際女性の日なのです。



# World Water Day

3.22

世界水の日

## 世界の水問題を

## 「協力の媒介」に

### コフィー・アナン国連事務総長メッセージ

今年の世界水の日（3月22日）を祝うテーマ「開発のための水」は、生命の維持と環境の保全に水が果たす根本的な役割を反映するものです。

11億人が安全な飲み水を利用できず、25億人が適切な衛生設備を利用できないと見られています。また、水関連の病気で死亡する人々は毎年500万人を超えると推計されていますが、この数は、年間平均の戦死者数の10倍に上ります。水は無限にただで利用できると思われがちですが、水が十分あるいは潤沢に供給されている場所でさえ、水質汚濁や需要増大による危険性は高まっています。2025年までに、世界人口の3分の2は、中程度あるいは深刻な水不足を抱える国々で暮らす可能性が高いのです。各国の熾烈な水資源獲得競争により、水の問題が暴力的な紛争の火種を内包しているとの恐怖が生じています。

しかし、私たちの世界が直面する水問題は、必ずしも緊張の原因というばかりでなく、協力の媒介となれる可能性も秘めています。世界の大河川のうち、3分の2はいくつかの国々によって共有されています。国境を越えて流れる河川は300本以上あります。集水域・氾濫原管理のノウハウ、あるいは、効率的灌漑の経験を有する国々が、その知識と技術を他国と共有するケースが増えています。多くの国々から様々な分野の科学者が、脅威を評価するとともに、農業生産性において大いに必要とされている「青の革命」を実現することを期待して、その努力を結集させています。国連システムの諸機関も、多種多様な活動プロジェクトに加え、第1回「世界水開発報告」の作成を行っているところです。

今年、各国首脳、非政府組織、民間セクター代表その他多くの人々が、ヨハネスブルクでの「持続可能な開発に関する世界サミット」で一堂に会する予定です。国連総会は来年を「国際淡水年」と宣言しました。こうした機会を捉え、淡水へのアクセスに関する「ミレニアム開発目標」を達成するための決定的な行動の道を描く責任は、あらゆる人々にあります。ともに手を携えれば、私たちは、安全で持続可能な水の将来を手に入れることができます。



アフリカでは少女や女性たちが1日におよそ6時間を水汲みに費やしている

現在、およそ11億人が安全な飲み水を利用できない状況にある

写真提供・国連児童基金 (UNICEF)

## 開発のための水

2002年3月22日のテーマ「開発のための水」は、まさに現状に相応しいものです。国連総会は、リオデジャネイロでの1992年国連環境開発会議の勧告を受け、「世界水の日」の制定を決議しました。2002年はこの画期的な行事の10周年に当たるばかりでなく、持続可能な開発に関する世界サミットが開かれる年でもあります。

水と開発は切っても切れない関係にあります。かつては際限なく再生可能で豊富な資源と考えられていた水は今日、世界各地で人間、社会および経済の開発への希望を定義づけ、制約しています。現在は十分な淡水供給がある国でさえ、需要の増大、汚染および乱開発により、淡水の供給が危ぶまれています。開発途上国では、農業、工業および都市開発の急成長により、淡水需要が着実に増大しています。地球の温暖化と気候の変動が地球の水循環に及ぼす潜在的な影響と相まって、今後の淡水供給は、これまでに増して不安定になるでしょう。しかし、こうした課題とともに、協力によって具体的な解決策を見出す機会も訪れています。

### リオからヨハネスブルクへの道のり

リオ会議で、各国政府はアジェンダ21を採択し、今後とも、すべての人々のために、公正でより持続可能な開発に向けた努力を行うことを公約しました。社会・経済活動に対する淡水の重要性を認識した上で、アジェンダ21の第18章は、以下の原則にしたがい、淡水の水質と供給を保護する行動を求めました。

- 淡水資源はあらゆる陸上生態系の本質的かつ不可欠な部分である。
- 水は生活のあらゆる側面で必要とされる。
- 世界各地での劣悪な、かつ、悪化を続ける水資源の状態からして、総合的な水資源の計画と管理が必要である。
- 河川水系を共有する国々にとって、国境をまたぐ水資源とその利用は極めて重要である。

持続可能な開発に関する世界サミットは、2002年8月にヨハネスブルクで開催予定です。そこでは、水を含め、持続可能な開発に影響を及ぼす根本的な問題への取組みに関する現在までの進捗状況が審査されます。

この道のりにおいて、2002年世界水の日には重要な通過点です。それは、水と開発の問題をじっくり考え、成果と課題を認識するとともに、解決を模索する過程において基礎となっている国際協力を強化する機会なのです。

\*本文は2002年の「世界水の日」主導国連機関である国際原子力機関 (IAEA) のウェブサイト <http://waterday2002.iaea.org/> からの情報です

# Second World Assembly on AGEING

国連第2回高齢者問題世界会議  
～すべての世代のための社会をめざして～

高齢化に関する新たな国際行動戦略の採択を図るため、2002年4月8日から12日までスペインのマドリードで「国連第2回高齢者問題世界会議(Second World Assembly on Ageing = WAA2)」が開催されます。

WAA2は国連総会が召集する世界会議で、すべての加盟国に対し、世界人口の高齢化の影響に関連する諸問題を話し合い、共通の行動戦略の合意を図るよう促すものです。国連加盟国189カ国の代表団とともに、国連機関、国際機関あるいはオブザーバーとして出席する認定NGOの代表が会議の主たる参加者です。

この会議の目標は、20年前にオーストリアのウィーンで開催された第1回高齢者問題世界会議で採択された「高齢化に関する国際行動計画」を見直すことにあります。マドリードでは、新しい「高齢化に関する国際行動戦略」が承認され、各国政府、国連機関、および市民社会の主体はすべて、これを指針として利用することになります。



## 国連、人口高齢化に関する新しい統計を発表

ニューヨークの国連本部は、世界の人口の高齢化に関する最も新しく包括的な統計を発表しました。その際、経済社会局人口課のジョセフ・シャミー課長によって、同課が作成したこの統計についての説明が行われました。

この統計では新しいデータとして、高齢者の数と比率、60才での平均余命、法定退職年齢、労働人口における高齢者の割合、潜在扶養率(potential support ratio)、現在既婚の高齢者の比率など、重要な指標が提供されています。これら新しいデータは、4月8日から12日にマドリードで開かれる第2回高齢者問題世界会議の準備にとって重要です。

今日、60才以上の高齢者は世界で6億2,900万人にのぼっており、人口10人に1人の割合です。国連の予測によると、60歳以上の人の割合は2050年までに5人に1人、2150年までに3人に1人になるとみられます。

また、60才以上の人口は2050年までにおよそ20億人になり、その時点で高齢者の数が子ども(0才～14才)の数を上回ると考えられています。

高齢者人口自体も高齢化しています。現在、80才以上の高齢者が60才以上の人口の12%を占めており、実際、高齢者人口の中で最も急速に増えているのはこの年齢層なのです。2050年までには、高齢者の21%が80才以上になると推定されています。また、2002年現在およそ21万人である100才以上の人口も、2050年には15倍の320万人に増えるの見積もられています。

世界は寿命の著しい伸びを経験しています。出生時の平均余命は1950年以降約20年伸び、現在では66才になっています。60才まで生存した人に期待される平均余命は、男性17年、女性20年ですが、寿命には国によって大きなばらつきがあります。後発途上国の60才平均余命は、男性15年、

女性16年であるのに対し、先進国では男性18年、女性23年です。

高齢者の半数以上は女性です。世界全体でみると、60才以上の高齢者は女性100人に対して男性81人、80才以上の高齢者は女性100人に対して男性53人となっています。高齢者内での女性に対する男性の比率は、途上国より先進国の方が低く、高齢者人口のうち配偶者がいる人は、男性が78%であるのに対して、女性は44%です。

人口高齢化の影響は、潜在扶養率(15～64才の人数を65才以上の人数で割った数値)に表れています。何人の労働人口で高齢者1人を支えるかを表すこの潜在扶養率は、先進国でも途上国でも下がっています。2002年から2050年の間に、先進国では、高齢者1人を支える労働年齢人口が5人から2人に低下するとみられ、途上国ではさらに大幅に下がって12人から5人になるとみられています。人口構

成のこうした劇的な変化は、社会保障制度、特に現在の労働者が現在の退職者の年金を支払う伝統的な方式の社会保障制度に影響を及ぼすでしょう。

1人当たりの所得が高い国々は、高齢者の労働参加率が低い傾向があります。60才以上の男性のうち経済的に活動している人は、途上国で50%であるのに対し、先進国では31%にすぎません。女性の場合、経済的に活動している60才以上の高齢者は、先

進国で10%、途上国で19%です。

この統計は <http://www.un.org/News/dh/pages/pressbriefing> でライブ・ウェブキャストのウォールチャートとしてご覧いただけます。また、このチャートのデータは、インターネット (<http://www.unpopulation.org>) でもご利用になれます。

第2回高齢者問題世界会議についての詳しい情報については、<http://www.un.org/ageing> をご覧ください。

## 高齢者の虐待に関する国連事務総長報告

### ～見過ごされがちな高齢者の虐待～

高齢者の身体的、性的および精神的虐待は、その金銭的搾取とともに見過ごされがちなものであり、注目を集めるのは最も深刻な事件に限られています。2月26日、国連事務総長はニューヨークの本部で新しい報告書を発表し、このような高齢者の深刻な人権侵害と闘うためのグローバルな行動の必要性を強調しました。

調査によれば、高齢者に対する暴力と虐待の加害者は、家族、友人あるいは知人であることが最も多くなっています。しかし、高齢者を餌食とする他人や、高齢者に詐欺を働く企業

も虐待の加害者となり得ます。

国立高齢者虐待センターによれば、米国では、1986年から1996年の約10年間にかけ、虐待件数が2.5倍に増えています。この調査では、虐待の加害者は成人した子ども(37%)が最も多く、配偶者(13%)、および、その他の家族(11%)がこれに続くことが明らかになっています。

オーストラリア、カナダおよび英国での調査によれば、虐待あるいは放置の経験がある高齢者は全体の3%～10%に上っています。アルゼンチンでは、都市部で調査対象となった高齢者のうち、45%が虐待を訴えています。中でも精神的な虐待が

## 第2回高齢者問題世界会議 国連親善大使

“将来は年老いた人々の遺産の上  
にのみ存在しうる”



パントマイムの第一人者、マルセル・マルソー氏

“若い世代の代表として、私は前世代が達成した進歩に感謝している”



スペインのインファンタ・クリスティーナ王女

最も頻繁に起きています。

今回の事務総長報告は、一層の調査の必要性を強調するとともに、意識の向上と教育、法整備、および、介入・予防プログラムの確立を含め、この問題への対処方法を提案するものとなっています。

\*全文は<http://www.unic.or.jp>でご覧頂けます

## 国連人口基金の新しい親善大使が決定



記者会見にのぞむ有森裕子さん  
【写真提供・ジョイセフ】

マラソンランナーの有森裕子さんが1月23日付けで国連人口基金 (United Nations Population Fund = UNFPA) の親善大使に任命されました。

地球規模の問題である人口問題の解決、途上国の女性のリプロダクティブ・ヘルス／ライツの向上のために活動する同親善大使に選ばれた主な理由は、マラソンランナーとして人々の心に残るメッセージを伝えてきたこと、スポーツを通してカンボジアの地雷の被害者に対して精神的な支援や義足提供の援助を行ってきたことなどです。

日本では、女優の岸恵子さんに次いで2人目となります。

有森さんは初仕事として2月に、エイズウイルス感染率がアジアで最も高いカンボジアを訪れ、現地のHIV/エイズの状況、青少年のエイズ予防活動を視察しました。UNFPAの現地事務所、カンボジア保健省など政府機関の職員を訪問するとともに、HIV感染者や性産業に従事している女性などから直接話を聞いて、カンボジアにおけるHIV/エイズ問題の深刻さを認識する機会を持ちました。





「国連：よりよい世界を目指して」(1982年)

期間：2002年4月8日（月）～4月25日（木）  
土日、祝祭日および国連の休日は休館

時間：午前10時～午後5時30分

場所：UNギャラリー（UNハウス1、2階）

4月8日（月）からはじまるUNギャラリーの新しい展示は「国連ポスター展～よりよい世界のために～」です。この展示は2000年12月、ニューヨークの国連本部で初公開されて以来、パリ、ジュネーブ、オスロ、ウィーン、ソウルなど世界8カ国を巡回して大好評を博しています。

展示される作品は、第二次世界大戦後に国連が創設された当初から現在にいたるもので、最も新しい作品は昨年9月に起きた米国同時テロ事件に関するものです。200枚近い作品群はキース・ヘリング（米国）、ホアン・ミロ（スペイン）、日本の平山郁夫氏ら世界的に著名な芸術家たちの手によるものです。日本では、そのうち約100枚が展示される予定です。

展示ポスターは国連が軍縮局、ユニセフ、国際原子力機関などの関連組織、専門機関のためにデザインしたもので、国連の歴史と国連の志す目標を示しています。そのテーマは国際年を記念するものから児童労働、地球温暖化など現代の抱える問題を訴えるものまで様々です。

ポスターは歴史的記録であるだけでなく、その際立つビジュアル性によって、大人にも子どもにも優れた教育の手段となっています。春の一日、UNギャラリーをいどる国連ポスター展に足を伸ばしてみませんか。



「黄金律」と題された国連ポスター



「国際原子力機関（IAEA）」ポスター



## 発行：国際連合広報センター

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 UNハウス8階

TEL: 03-5467-4451

FAX: 03-5467-4455

URL: <http://www.unic.or.jp> / E-mail: [unic@untokyo.jp](mailto:unic@untokyo.jp)